

# 貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 ○ 神奈川県水産技術センター  
 【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁、国土交通省 関東地方整備局)  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会  
 ○ 東京都環境局  
 ○ (独)国立環境研究所  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成27年7月21～22日観測結果

貧酸素水塊は内湾の沿岸部を除く広範囲に分布しており、羽田沖や扇島沖には溶存酸素量0.5ml/L以下のほぼ無酸素状態の水塊もみられています(図1)。

ただ、縦断ラインの鉛直分布では溶存酸素量2.5ml/L以下の水塊の厚みは薄く、規模は直近10年の平均を下回っています(図2、3)。

内湾の全域で海面が褐色を呈す赤潮状態になっています。

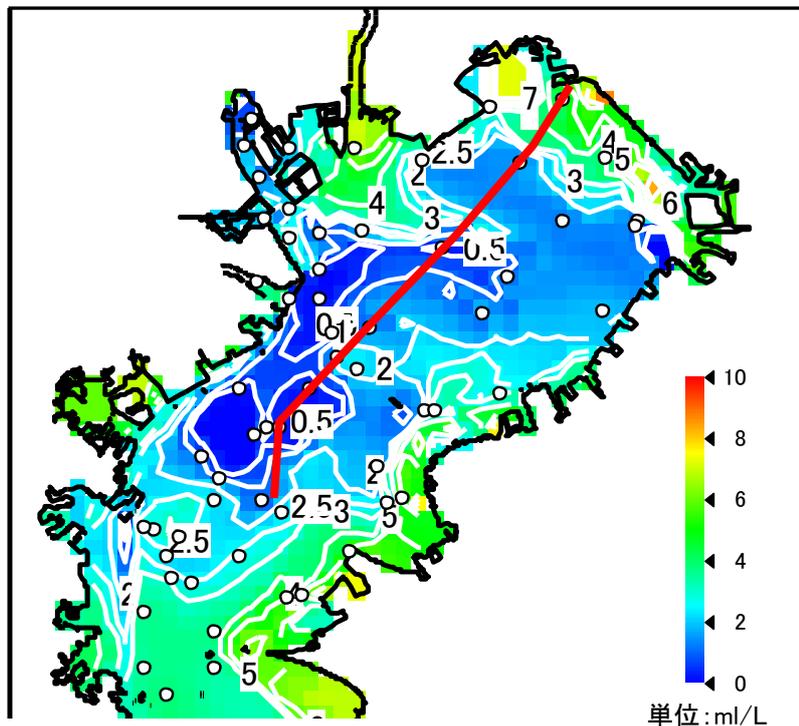


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

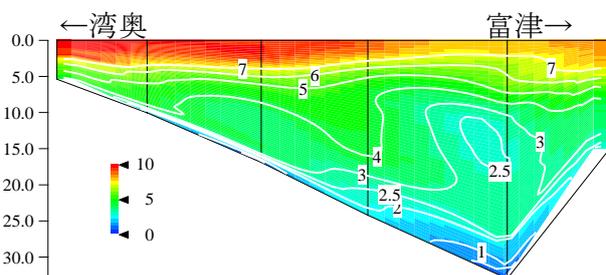


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

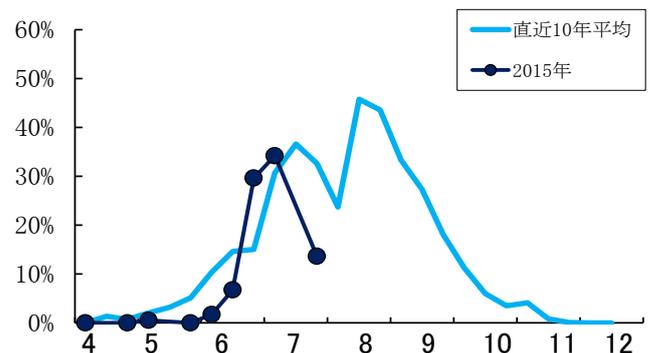


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)